



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
www.3-net13.hakusan.ed.jp/kiba-e



令和7年 2月 27日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
e-kiba@kec.hakusan.ed.jp

6年生を送る会・学級懇談会ありがとうございました



21日の「6年生を送る会」にはたくさんのご参観ありがとうございました。降雪のため駐車場の確保が難しいとご連絡したところ、皆さん徒歩でご来校くださり、とても助かりました。また当日は、歩道の確保のため育友会役員さんが早朝から除雪をしてくださる等、本当に皆さんのおかげで実施できた行事でした。

最初に子ども達の登下校を見守ってくださる「わがまち防犯隊」や、金曜日の朝に読み聞かせをしてくださる図書ボランティアの代表の方々に、日ごろの感謝をお伝えしました。今年度「木場町児童わがまち防犯隊」は小松市優良防犯団体として表彰されましたが、毛利さんからは「子ども達の元気なあいさつが防犯隊の皆さんの元気につながっている」ことをうかがいました。図書ボランティアの中門さんからは「みんなの顔を思い浮かべながら本を選ぶのは楽しい」というお話をお聞きし、改めて地域でのあいさつの大切さを感じましたし、ボランティアの皆さんと一緒に本を楽しみたいと思いました。



どの学年も、各教科で学んだことを生かしながらも、6年生が楽しめるように工夫した出し物がありました。5年生が全校に提案した「6年生に感謝の気持ちを伝え、楽しく思い出に残る会にしよう」のめあてが十分に達成できたと思います。

学級懇談会でも、子ども達の1年間の成長をお聞きすることができ、ありがたかったです。あと1か月、今の学年を締めくくるとともに、希望をもって次の学年に進めるよう指導をしていきますので、お力添えをお願いします。

学びのアウトプット

①木場潟環境フォーラム(4年生)

16日、小松ドームで4年生がこれまでの学びを発表しました。子ども達の声の張りや立つ姿勢にも、自分達の学びに対する自信を感じました。子ども達の「はてな」からスタートしたこの活動は、話し合いの中で「知りたい」になりました。そして多

くの皆様の支えで「わかった」になり、「自分達で行動したい」「広げたい・伝えたい」に変化していきました。1人でできることは小さいけれど、14人で学び、行動したことは大きいです。さらに会場で市長さんの言葉にあったように、本校の学びは、学んだ子自身の財産となるだけでなく、下級生が上級生の学びを見ることでつながっていきます。テレビ小松での放映も本日までですので、見逃された方は是非ご覧いただき、子ども達の発表から本校の「学びに向かう意欲」を感じていただけたらと思います。



②木場潟東園地での学びを生かして

・里山再生への提案(5年生)



・再生可能エネルギー(6年生)



今年度も木場潟東園地に何度も出かけ、たくさんの学びがありました。そのまとめとして5年生は「里山再生」の視点から木場小学校周辺の森林を生かした土地利用に

ついて、6年生は「循環型エネルギー」の視点から木場小学校の建物を生かしたSDGs小学校についてグループで考え、提案をしました。

「間伐材を使った遊具を作ってたくさんの人に遊びにきてもらう」「キノコを栽培し、レストランで提供する」「屋上に太陽光パネルを置き、電力を作り出す」「地下水を作物栽培に使う」……。子ども達の提案はこれまでの学びが生きている上、素直で豊かでした。

卒業を控えて

①マナー給食

14日には山下栄養教諭を講師に食事のマナーについて学んだ後、ナイフとフォークを使って給食を食べました。いつもの給食ですが、陶器に盛り、デザートが追加されると、一気に緊張感が高まりました。普段の倍近くの時間を使ってしまい、食事としては楽しめなかったかもしれませんが、大人に近づいた気分のランチタイムとなりました。



②中学校説明会

18日、南部中学校の生徒さんによるオンラインでの中学校説明会がありました。学校生活や部活動についての説明を聞いた後にはクイズがありました。「長休みはある?」「給食は何時から?」「部活動の数は?」に答えながら、小学校との違いを確認していました。いよいよ卒業へのカウントダウンです。

